

令和 7 年度に使用する小学校用教科用図書採択理由書

苫小牧市教育委員会

種 目	発 行 者	採 択 理 由
国 語	光村図書出版 株式会社	巻末に「図を使って考えよう」として、思考ツールの使い方が例示されており、児童が考えや情報を構造的に整理し学習に生かすことができるように工夫されている。 また、単元の学習において、基本的な学習過程が示されており、児童に見通しをもたせたり、学びを振り返らせたりすることで、主体的な学びが実現されるよう工夫されている。
書 写	光村図書出版 株式会社	字形や筆順、読みやすさなどについて話し合う場面が設定されており、対話的な学びの実現に向け、工夫された構成になっている。 また、平仮名、片仮名、ローマ字の書き方についての動画が用意されており、学習状況に応じて個別に確認できるようになっている。
社 会	教育出版 株式会社	見開きページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」のどの場面を学んでいるのかをインデックスで確認することができ、見通しをもって学習を進められるよう工夫されている。 また、各小単元の「まとめる」のページには、文章にまとめる、発表する、話し合うといった多様な「対話的な活動例」が紹介されており、児童に思考力・判断力・表現力を育む指導が進められるよう工夫されている。
地 図	株式会社 帝国書院	都道府県や世界の国々の名称、位置関係がわかる 3 ページ大の地図や地図帳の使い方や、地図上の国旗や都道府県の特産品が分かりやすく示されており、使用上の便宜が図られています。 また、QR コードからどんな情報を読み取ることができるのかが示されており、学習内容に応じてアニメーションや統計資料等を効果的に活用することができるよう工夫されている。
算 数	東京書籍 株式会社	単元前半では、吹き出しや補助発問を丁寧に掲載しており、中盤から後半にかけては既習事項などを活用しながら自分自身で問題を解決し思考力が育まれるよう、記述を少なくするといった工夫がなされている。 また、掲載されている QR コードには、単元導入時に児童の課題意識を高める動画や、図形を操作したり表に書き込んだりして思考力や判断力を養う教材など、多様なコンテンツが用意されている。
理 科	東京書籍 株式会社	児童に問題発見力や問題解決能力が育まれるよう、すべて「問題をつかむ」「問題」「予想」「調べる」「まとめる」の流れに沿って学習が組み立てられている。 また、単元末と巻末に「ふりかえり」が用意されており、知識・技能の定着を図れるとともに、学んだことを次の単元に生かすこともできるよう工夫されている。

生 活	株式会社 新興出版社 啓林館	キャラクター等のつぶやきを多く掲載することで、児童の気付きを促したり、紙面右下に「めくり言葉」を示すことで次時の活動への思いや願いをもたせたりと、学習意欲を高める工夫がなされている。 また、「デジタルたんけんブック」の資料などにより、児童一人一人の興味関心に応じた学習課題や活動に取り組む機会が提供されている。
音 楽	教育出版 株式会社	巻頭及び巻末に豊富な資料を掲載したり、「音楽を表すいろいろな言葉」として示したりすることで、学習意欲を高めるとともに、学習（鑑賞）に生かす工夫がなされている。 また、動画教材が豊富で、特に演奏と楽譜のアニメーションで旋律の動きを捉える動画は、視覚的にわかりやすく、また音源も電子音ではなく実音で聞きやすいものになっている。
図画工作	開隆堂出版 株式会社	題材ごとに他教科とのつながりについて具体的に示し、教科横断的（様々な教科と関連させた）視点による授業づくりに活用することができるよう、工夫されている。 また、人とともに新しい未来を創造する力につながる図工の学習として、多様性や伝統の尊重など様々な視点から、具体的な活動例が示されている。
家 庭	東京書籍 株式会社	すべての大題材に「見つめよう」→「計画しよう・実践しよう」→「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」と3ステップによる展開が掲載されており、明確な目的をもって取り組み、達成感を感じることができるよう工夫されている。 また、学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方が「家庭科の窓」として掲載されており、どの視点を重視するのかを明確にした指導ができるよう配慮されている。
保 健	東京書籍 株式会社	思考・判断したことを表現するノート欄が掲載されており、個人思考と集団思考をそれぞれ振り返ることができ、自己変容につながる工夫がされている。 また、資料「性と自分らしさ」を新設し、体だけでなく気持ちや考え方などの「性のものさし」を示すことで性の多様性に気づき、「自分は多様な人たちの一人」と、自分事として考える機会が提供されている。
英 語	東京書籍 株式会社	学びの手順（Our Goal→Your Plan →Your Goal）が示されており、児童が見通しをもって活動を積み上げていくことができるよう構成されている。 また、ユニットの構成が段階（Starting Out→Your Turn→Enjoy Communication→Over the Horizon）を踏んだものとなっており、各時間の学びが明確となるよう配慮されている。
道 徳	光村図書出版 株式会社	「考えよう・話し合おう」では、資料の内容に沿って考える内容が記されており、主体的・対話的な学習ができるように構成されている。 また、資料の冒頭に、内容項目に関連した発問が掲載されており、興味関心を引き出せるように工夫されている。